

令和 4 年(2022 年)1 月 28 日

令和 3 年度 第2回多文化共生推進評議会 資料 5

令和 3 年度 留学生支援事業について

令和 3 年度の留学生支援事業は、対象を大学生だけでなく、新たに日本語学校等の生徒にも広げ展開した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、全体として利用件数は伸びなかったものの、日本語学校等の生徒の利用割合は高く、ターゲットを拡大した効果が確認できた。

1 外国人留学生住居賃貸代行保証料補助金

要件を広く市内在住の留学生とし、対象を拡大。日本語学校等の生徒からの申請件数が多く、問い合わせも多かった。

交付件数 14 件(大学 2 件、日本語学校 12 件)

2 日本語能力試験受験料補助金

日本語能力試験 N1 の合格者に受験料相当額を交付。受験の励みになったという声も。

交付件数 10 件(大学 2 名、日本語学校等 8 名)

3 助っ人留学生制度

留学生と地域活動をマッチングさせる制度。新型コロナウイルス感染症の影響で、活動を増やすことができなかったが、留学生の希望は多い。令和 4 年度は、感染拡大の影響を注視しながら、活動の種類を充実させたい。

登録人数 13 人(大学 11 人、日本語学校 2 人)

活 動 1 回(総合防災訓練 10 人参加)

4 留学生ガイドブックの作成・配布

生活ガイドを作成し、入学シーズンにあわせ、新入生等に配布。

配布数 1,300 部

5 ごみの出し方の啓発

入学シーズンにあわせ、「ごみの出し方ハンドブック」を指定収集袋と併せて新入生に配布。

今後、日本語学校等での出前授業なども実施したい。

配布数 約 1,500 セット